

今、生まれる世界

わこうプラン推進委員 上原 武

人ひとりが、経験できる事柄は、全くもって少ない。それでも、人間は、自分自身の経験を基に、毎日の出来事を処理してゆかなければならない。運良く、方法が合致すればいいが、そうでなければ、改めて、自分の記憶を引っ張りだして、再度の修正、変更を繰り返すことになる。恋愛や就職、家庭や職場、人間同士が関わりあう場面では、こんなことのくりかえしだろう。

人間には、そんな「自分という枠を出られない」不自由さがつきまとう。そして、この時、本人が、どれだけ成長できるかの境目に、想像力というものがあるのではないだろうか。

結婚のために仕事をあきらめるか、仕事のために結婚を断念するか迷い、悩んだ挙句、仕事も家庭も両立できる、第三の方法が、傍に転がっていたにも関わらず、眼に入らなかった自分に気

付く。そんな話を聞いたことはないだろうか。この解決策を見えないようにしていたものこそが、人間の不自由さであり、目隠しをされている自分に気が付かせたものこそが、人間の持つ力だと言ってもいいだろう。そして、その後に見える世界は、それまで当たり前だった世界とは、どこかが違っているはずだ。今の自分とは違う自分を想像するということは、今まで、みることの出来なかった多くの世界を手に入れることに他ならないのだ。

動物は、自分の環境を変えることはできない、与えられた環境を生きるだけである。だが、人間の想像力は、今まで培った経験と知識をもとに、様々

な状況で、新しい自分を生み出してくれる。

もしも、恋や家庭、仕事のことなどで悩んだ時は、一瞬、立ち止まって、男ではない自分、女ではない自分というものを想像してみるのも一つの手かもしれない。そこから見える世界は、きっと新しいあなたをもたらしてくれることだろう。



このコラムは市民であるプラン推進委員が、男女共同参画わこうプランの基本理念に基づき、男女共同参画を推進するための啓発活動の一環として執筆しています。